

# 排水中のPFOS/PFOAの分析

排水中のPFOS、PFOAを高感度で分析いたします

## PFOS/PFOAを廻る状況

- パーフルオロスルホン酸(PFOS)及びパーフルオロオクタン酸(PFOA)は、他の物質にはない独特の性質(水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光に強いなど)をもつため、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤など身近なものに用いられています。
- しかし、PFOSは残留性の高い環境汚染物質であり、かつ人体への有害性が疑われ、POPs条約<sup>1)</sup>によりPFOSは制限物質、PFOAは廃絶に追加され、国内では化審法により規制されています。
- また、PFOSを含む泡消火剤が住宅地や川へ流出する事案<sup>2)</sup>や、地下水で高濃度のPFOS/PFOAが(合計1340ng/L)検出されたとの報道<sup>3)</sup>もあり、工場排水、飛行機排水、生活排水などあらゆる排水に含まれている可能性が高いことから、環境負荷への懸念が高まっています。
- 環境省では、PFOS及びPFOAを「水質管理目標設定項目」に設定し、公共用水域、地下水中のPFOS及びPFOAの合算として「目標値50ng/L以下(暫定)」を設定しました<sup>4)</sup>。

1) 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

2) 沖縄タイムス+ニュース 2019年12月10日

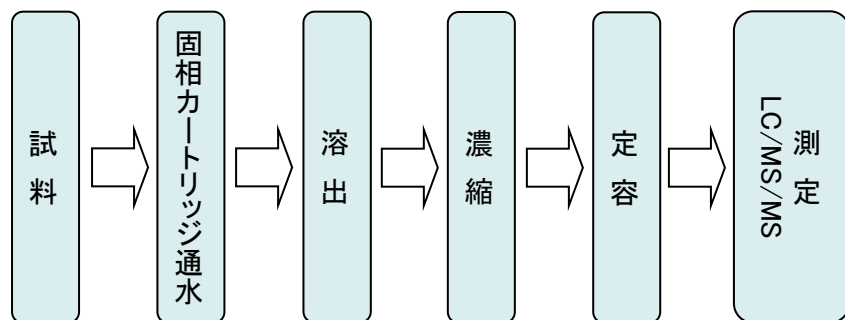
3) 朝日新聞デジタル 2020年1月6日

4) 「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(通知)」(環水大土発第2005281号 環水大土発第2005282号令和2年5月28日)

## 当社の分析サービスの概要

- 排水、材料を対象とした多数のPFOS/PFOAの分析実績がございます。
- 試験法

上記4)環境省通知の「別表2 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の測定方法」に準拠した試験を実施いたします。分析フローは次のとおりです。

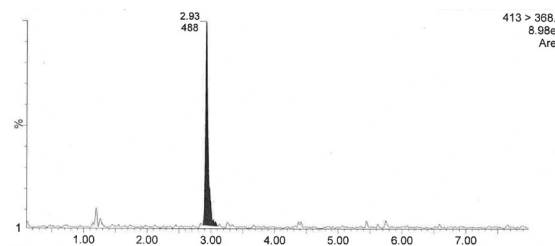


- 分析対象物質

PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)を対象とします。PFOS、PFOAの分子構造は以下のとおりです。

PFOS: ペルフルオロオクタンスルホン酸

PFOA: ペルフルオロオクタン酸



PFOA標準品(0.2pg/μL)のクロマトグラム